ローカル系統における混雑処理について（再給電方式(一定の順序)の出力制御順に基づく出力制御）

2025年10月8日（2025年10月31日改訂）
東京電力パワーグリッド株式会社

概要

■ 2023年4月1日の接続検討申込み受付から、連系する基幹・ローカル系統の空き容量の有無に係わらず全ての電源（10kW未満の低圧を除く）をノンファーム型接続適用電源として取り扱うこととされ（当社離島を除き）、2023年12月末までに再給電方式（一定の順序）の出力制御順に基づく出力制御（以下、ローカル系統混雑時の出力制御（一定の順序）といいます。）を導入することとなりました。
■ 当社供給エリアのローカル系統においては、関係するシステム開発・改修等に時間を要する事から、混雑(※1)が見込まれた2024年4月1日から、暫定的にノンファーム一律制御の運用(※2)を開始しておりました。
■ 関係するシステム開発・改修等の完了見通しがたったため、2026年4月1日からローカル系統混雑時の出力制御（一定の順序）への移行を予定しています。
■ 本資料では、ローカル系統のノンファーム型接続の概要及びローカル系統における混雑処理について説明します。
■ 上述出力制御に伴い、対応が必要となる発電契約者向けに別途説明会を実施します。

（※1）混雑：送電設備の運用容量の制約により、発電事業者の運用に制約が生じている状態
（※2）再給電方式（一定の順序）の出力制御順に基づく出力制御の開始までのローカル系統における混雑処理について
https://www.tepco.co.jp/pg/consignment/workshop/information/renewable/fit/pdf/nonfarm_uniform_control.pdf

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

目次

0. 2026年4月から変更となる点
1. ノンファーム型接続の目的・概要
    1. ノンファーム型接続の導入目的
    2. ノンファーム型接続適用系統と電源および混雑管理
2. 再給電方式（一定の順序）の出力制御順に基づく出力制御の制御方法
    1. 東京エリアのローカル系統における混雑見通し
    2. ローカル系統混雑時の制御対象ならびに制御方法
    3. メリットオーダー制御について
    4. ノンファーム電源の一律制御
3. 系統アクセス手続き
    1. 系統アクセス手続き
    2. 系統アクセスに必要となる制御装置の概要
    3. 発電計画の提出方法
    4. 低圧における系統コード変更の対応
    5. 受電地点特定番号と出力上限値をＨＰ公表することに関する同意について
4. メリットオーダーによる出力制御
    1. 発電量調整供給兼基本契約者様の契約更改について
    2. 系統混雑発生予測対象設備・期間に関わる通知について
    3. 限界費用単価提出について
    4. 代替単価について
5. 系統混雑時の精算
    1. 給電指令時補給における精算について
・参考資料
・改訂履歴

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

０．2026年4月から変更となる点

✓ 制御対象電源が変更となります。	→ 9 スライド
✓ 一律制御に加えてメリットオーダーによる制御が導入されます。そのため③ファーム電源に対しては、予め限界費用単価を提出いただきます。	→ 10 スライド
✓ 発電契約者による発電計画書き換えのためのHP公表が発電計画比から最大受電電力比に変更となります。	→ 14 スライド
✓ ③ファーム電源に対してはメリットオーダーによる出力制御のための限界費用単価提出に関して、発電量調整供給兼基本契約書を更改させていただきます。 ※契約更改は③ファーム電源との契約有無にかかわらず、全ての発電契約者が対象となります。	→26 スライド
✓ 当社が当社ＨＰに受電地点特定番号と出力上限値を公表するために、当該発電所を所有する発電事業者様から公表に関する同意をいただく必要があります。	→24 スライド

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

1-1．ノンファーム型接続の導入目的

- ✓ 再エネ導入拡大により、空き容量不足を解消するための送変電設備の増強は一定の時間を要することから、早期の再エネ導入を進める方策の１つとして、送変電設備混雑時の出力制御を条件に早期接続を認めるノンファーム型接続の取り組みを進めています。
- ✓ 国の整理において、連系する基幹・ローカル系統の空き容量の有無に係わらず全ての電源（10kW未満の低圧を除く）がノンファーム型接続適用電源として取り扱うこととされました（当社離島を除く） 。

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

1-1. ノンファーム型接続の導入目的

電力広域的運営推進機関　系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム型接続～　2024.7.1更新より抜粋

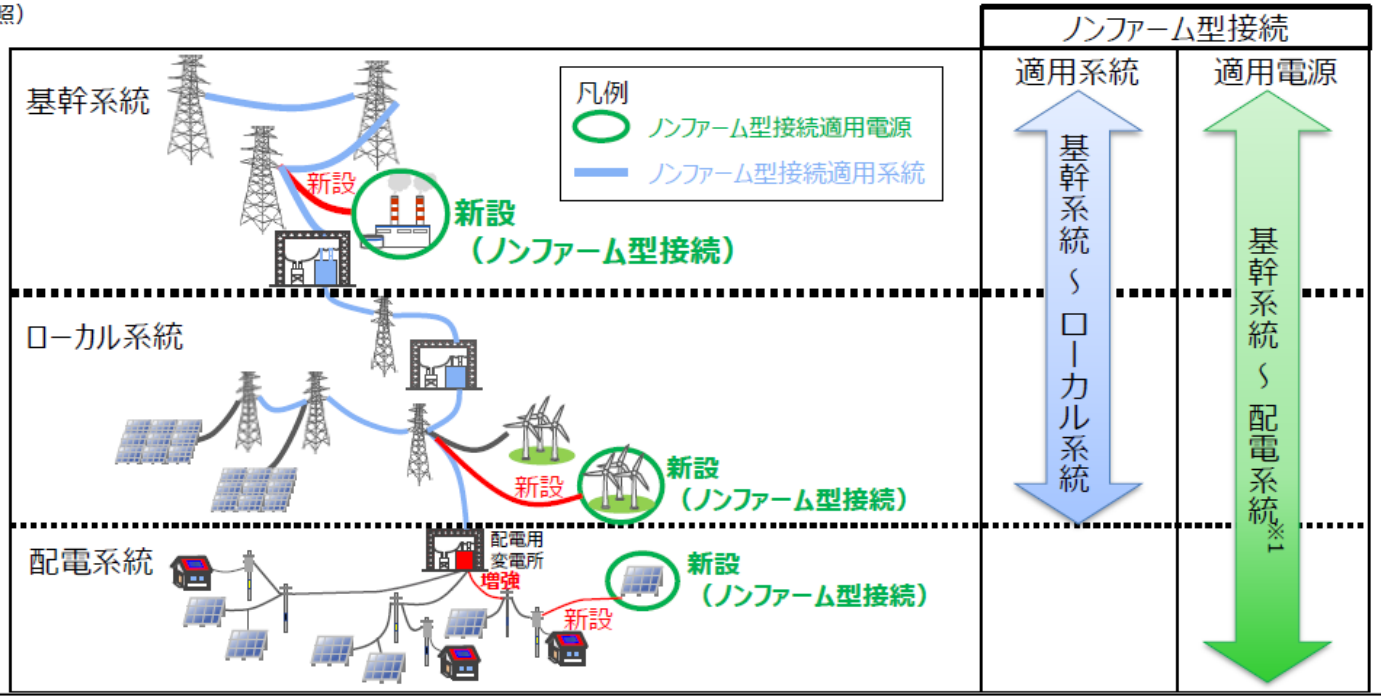
ノンファーム型接続が適用される系統と適用される電源

5

- 2023年4月1日以降に接続検討の受付を行った案件は、接続先の電圧階級や空き容量の有無に関わらず、原則としてノンファーム型接続適用電源※1（以下、「ノンファーム電源」という。）となり、混雑※2時の出力制御を前提※3に、既存のネットワーク設備への接続に必要となるアクセス線を整備の上で※4、すみやかな連系が可能です。
- なお、配電系統の送配電設備（配電用変圧器含む）の空き容量が不足する場合は、当該設備の増強工事が必要となります。

系統アクセス全体の流れについては「発電設備等系統アクセスの流れ」をご確認ください。

※1 需要変動の影響を受け、出力予測や制御が困難な10kW未満の低圧を除く
※2 混雑：送電線や変圧器等の送変電設備において、潮流が運用容量を超過する又は超過するおそれがある状況
※3 接続先の設備が混雑していない場合でも、出力制御が必要となる可能性があります（上位設備の混雑に影響する場合など）。また、連系時には混雑がない場合であっても、その後の状況変化により新たな混雑が生じた場合などは出力制御が必要となる可能性があります。
※4 他者が整備したアクセス線に連系する場合などは、そのアクセス線に連系するために新規で構築する送電線に加え、既設系統までの整備済のアクセス線の増強が必要となる場合があります。（P9・10参照）



無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

1-2. ノンファーム型接続適用系統と電源および混雑管理

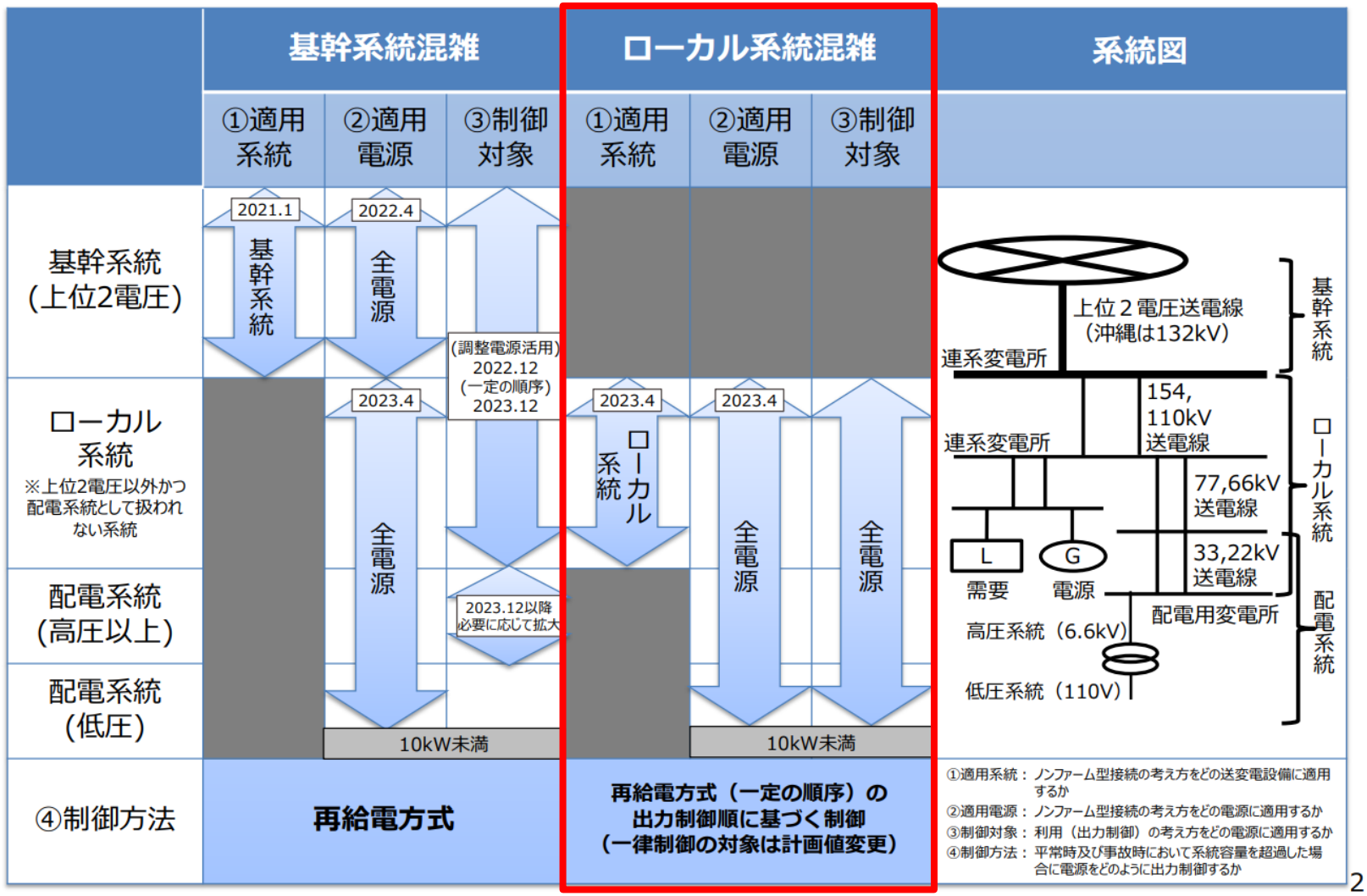
- ✓ 基幹系統混雑における適用電源については、空き容量の有無に関係なく、基幹系統、ローカル系統以下に連系される電源（10kW未満の低圧を除く）となりますが、混雑時の制御対象は特別高圧の電源（高圧の電源まで必要に応じて拡大）となります。
- ✓ 基幹系統混雑における制御方式については、2022年12月から再給電(余力活用に関する契約を締結する電源の活用)、2023年12月から再給電(一定の順序)となります。
- ✓ 一方でローカル系統混雑時における適用電源は、空き容量の有無に関係なく、ローカル系統以下に連系される電源（10kW未満の低圧を除く）となり、混雑時の制御対象はローカル系統以下に連系する電源（10kW未満の低圧を除く）となります。
- ✓ ローカル系統混雑における制御方式について、当社においては、2026年４月１日からローカル系統混雑時の出力制御（一定の順序）開始します。

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

1-2. ノンファーム型接続適用系統と電源および混雑管理

2023.2.28 第44回系統ワーキンググループ資料1-1 抜粋

（参考）適用系統・電源と制御対象・方法の整理



無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

2-1. 東京エリアのローカル系統における混雑見通し

- ✓ ローカル系統の混雑見通しにつきましては、混雑想定の精査が完了次第、以下当社HPへ公表を予定しております（10月下旬頃）。
- ✓ 混雑見通し公表の見直しに伴い、2024年度開始前にお知らせした混雑の可能性がある系統につきましては対象外となります。

＜混雑見通し公表箇所＞

詳しくは以下のＵＲＬから当社ホームページにてご確認ください

・当社における系統情報について

https://www.tepco.co.jp/pg/consignment/system/

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

2-2. ローカル系統混雑時の制御対象ならびに制御方法

- ✓ ローカル系統混雑時における、現状の「ノンファーム一律制御」では、以下の「ローカル系統混雑時の出力制御(一定の順序)による出力制御ルール」の②④⑤⑥を一律による制御対象としております。2026年４月１日以降は①③も含め一定の順序で制御いたします。
- ✓ 下げ調整の余力活用契約のないノンファーム型接続の電源においては引き続き、発電計画値に対して一律で制御し、発電契約者は一般送配電事業者より提示される混雑予想をもとに発電計画の修正（※1）を行います。

【2024～2025年度】
暫定対応(ノンファーム一律制御)

電源種別	出力制御方法
ノンファーム	一律
ファーム	

【2026年度～】
ローカル系統混雑時の出力制御(一定の順序)

出力制御順	出力制御方法
①調整電源（※2）の出力制御	メリットオーダー（※3）
②ノンファーム型接続の調整電源以外の電源（以下、「非調整電源」といいます。）の出力制御 ②-1 ノンファーム型接続の非調整電源のうち、火力電源等の出力制御 ②-2 ノンファーム型接続の非調整電源のうち、電力貯蔵システムの出力制御	一律
③ファーム型接続の非調整電源の出力制御 ③-1 ファーム型接続の非調整電源のうち、火力電源等の出力制御 ③-2 ファーム型接続の非調整電源のうち、電力貯蔵システムの出力制御	メリットオーダー（※3）
④ノンファーム型接続の非調整電源のうち、バイオマス電源の出力制御	一律
⑤ノンファーム型接続の非調整電源のうち、自然変動電源（太陽光、風力）の出力制御	一律
⑥ノンファーム型接続の非調整電源のうち、バイオマス電源および長周期固定電源の出力制御	一律

（※1）なお、FIT特例制度③の電源は、混雑予想送信後の発電計画の再提出は不要となります。
（※2）下げ調整の余力活用契約を締結している電源が対象になります。
（※3）限界費用単価の提出が必要(後述)となります。

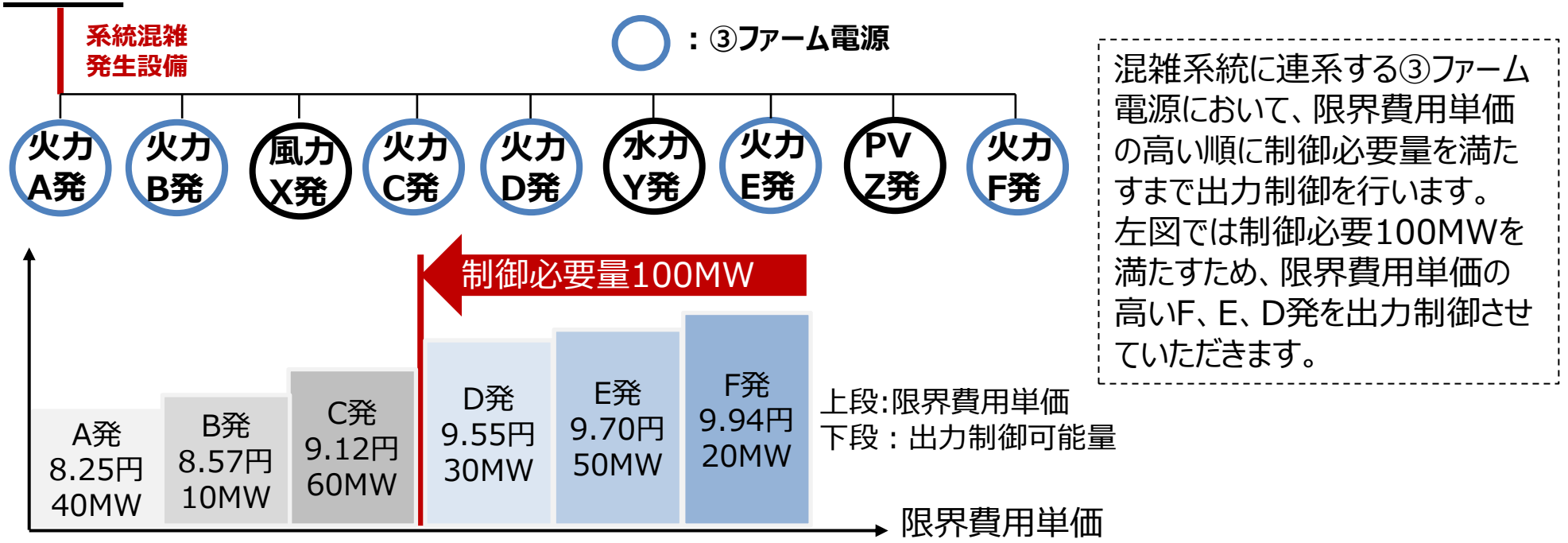
無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

2-3. メリットオーダー制御について

- ✓ ローカル系統におけるローカル系統混雑時の出力制御(一定の順序)導入に伴い、混雑対象となる系統に接続する③ファーム型接続の非調整電源（以下、「③ファーム電源」といいます。）についてはメリットオーダーによる出力制御により限界費用単価の高い電源から制御を行わせていただきます。
- ✓ 具体的には、下図の通り③ファーム電源に対して、制御必要量を満たすまで限界費用単価の高い順に出力を制御することとなります。
- ✓ このため、系統混雑が発生することが予見される系統に連系する③ファーム電源に対しては、予め限界費用単価を提出いただきます。

※ ①調整電源の出力制御も同様にメリットオーダー制御となります。

＜③ファーム電源のメリットオーダー出力制御例＞



混雑系統に連系する③ファーム電源において、限界費用単価の高い順に制御必要量を満たすまで出力制御を行います。
左図では制御必要100MWを満たすため、限界費用単価の高いF、E、D発を出力制御させていただきます。

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

2-4. ノンファーム電源の一律制御（出力制御方法の概要）

- ✓ 現状のノンファーム一律制御においては、系統接続後は、接続時のタイムスタンプに関係なく公平に取り扱うという観点から、ノンファーム型接続の電源を発電計画値に対して一律で出力制御を行います。
- ✓ 2026年４月１日からは、出力制御方法をローカル系統混雑時の出力制御（一定の順序）へ移行し、以下の出力制御ルール②④⑤⑥の**<u>各グループにおいて一律に制御</u>**します。

【2026年度～】
ローカル系統混雑時の出力制御(一定の順序)による出力制御ルール

※再掲

出力制御順	出力制御方法
①調整電源の出力制御	メリットオーダー
②ノンファーム型接続の調整電源以外の電源（以下、「非調整電源」といいます。）の出力制御 ②-1　ノンファーム型接続の非調整電源のうち、火力電源等の出力制御 ②-2　ノンファーム型接続の非調整電源のうち、電力貯蔵システムの出力制御	一律
③ファーム型接続の非調整電源の出力制御 ③-1　ファーム型接続の非調整電源のうち、火力電源等の出力制御 ③-2　ファーム型接続の非調整電源のうち、電力貯蔵システムの出力制御	メリットオーダー
④ノンファーム型接続の非調整電源のうち、バイオマス電源の出力制御	一律
⑤ノンファーム型接続の非調整電源のうち、自然変動電源（太陽光、風力）の出力制御	一律
⑥ノンファーム型接続の非調整電源のうち、バイオマス電源および長周期固定電源の出力制御	一律

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

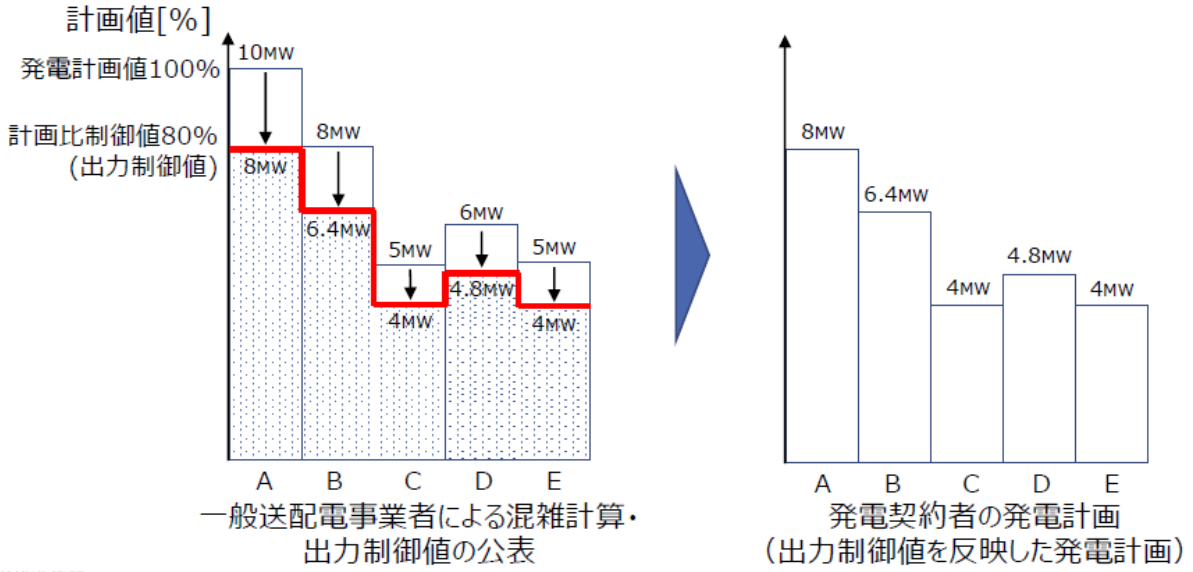
2-4. ノンファーム電源の一律制御（出力制御方法の概要）

電力広域的運営推進機関　系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム型接続～　2024.7.1更新より抜粋

ローカル系統の混雑管理について　～ノンファーム電源の出力制御量の配分方法～　33

- 混雑時のノンファーム電源間の出力制御については、系統接続後は、接続時のタイムスタンプに関係なく公平に取り扱うという系統利用の基本的な考え方を考慮し、**発電計画値に対して一律に制御**します。
- 具体的には、30分毎の出力制御が必要な総量をノンファーム電源に対して発電計画値の比で配分します（無補償で出力制御に応じていただきます。）。

【発電計画値に対して20%制御が必要な場合のイメージ】



電力広域的運営推進機関 Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators, JAPAN OCCTO

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

2-4. ノンファーム電源の一律制御（出力制御情報の通知）

✓ ノンファーム電源の**発電事業者が発電機の運転スケジュールを変更するために当社から発電設備へ**、翌日発電計画提出後、実需給の5時間前、実需給の1時間前の3回、**混雑予想（最大受電電力比）の通知を実施**します。

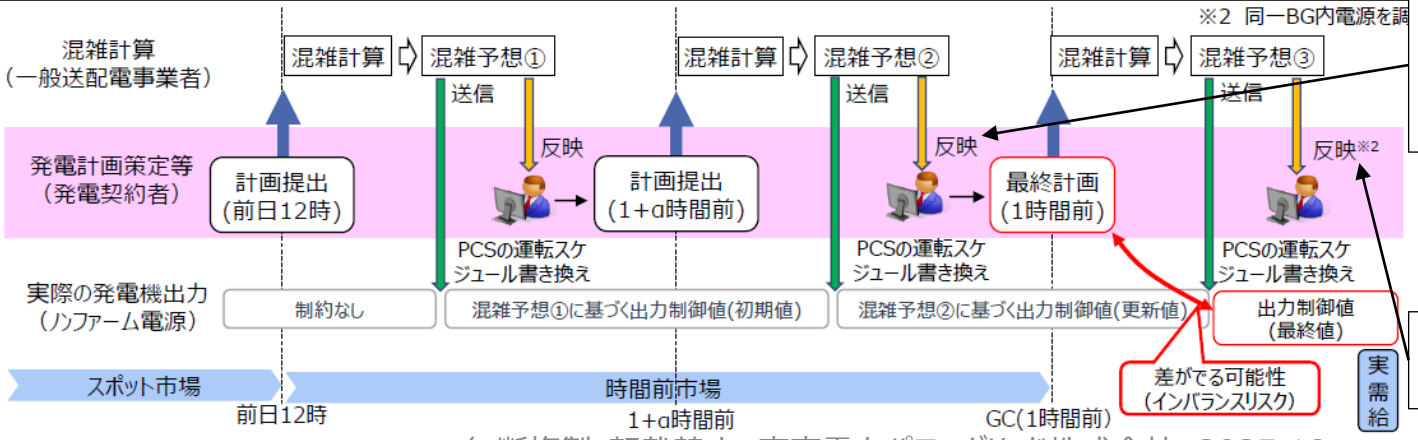
電力広域的運営推進機関　系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム型接続～　2024.7.1更新より抜粋

ローカル系統の混雑管理について　～ノンファーム電源の出力制御の基本的な考え方～　34

- 混雑における出力制御は、最終計画提出（実需給の1時間前）より前の段階（計画段階）から行います。
- 一般送配電事業者が混雑計算を行い、混雑予想を行うタイミングは、以下に示す①～③の計3回です。
  - ①翌日発電計画提出後
  - ②実需給の1+α時間前※1
  - ③実需給の1時間前(発電計画確定の直後)

※1 αは、システム処理時間や事業者の代替電源調達時間等を加味した上で一般送配電事業者において決定します

- 一般送配電事業者は①～③時点で発電契約者から提出されている最新の発電計画および自然変動電源の出力予想や需要想定を基に、潮流想定を行い、ノンファーム電源の混雑予想を行います。
- **発電契約者は①および②における混雑予想を基にノンファーム電源の制御量を把握し代替電源調達を行うとともに必要に応じて発電計画の変更（再提出）を行います。**
- 最終的な出力制御量は、③のタイミングにおいて、最終的な発電計画に基づき計算されるため、混雑が生じる場合は、インバランス単価による精算が必要となる可能性があります。



システム処理時間や発電契約者の代替電源調達時間等を考慮し、弊社においてαを４時間と設定。

実需給5時間前時点で一般送配電事業者が受領していた発電計画をもとに制御量算出を実施するため、HP公表は実需給4時間半前程度となる。

参考としてHP公表するが、GC後のため発電計画の修正は行わない。

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

2-4. ノンファーム電源の一律制御（発電契約者による発電計画値の書き換え）

✓ ノンファーム電源の**発電契約者が発電計画値の書き換えを実施するために当社HPにて**、翌日発電計画提出後、実需給の5時間前、実需給の1時間前の3回、**混雑予想（最大受電電力比）の公表を実施**します。

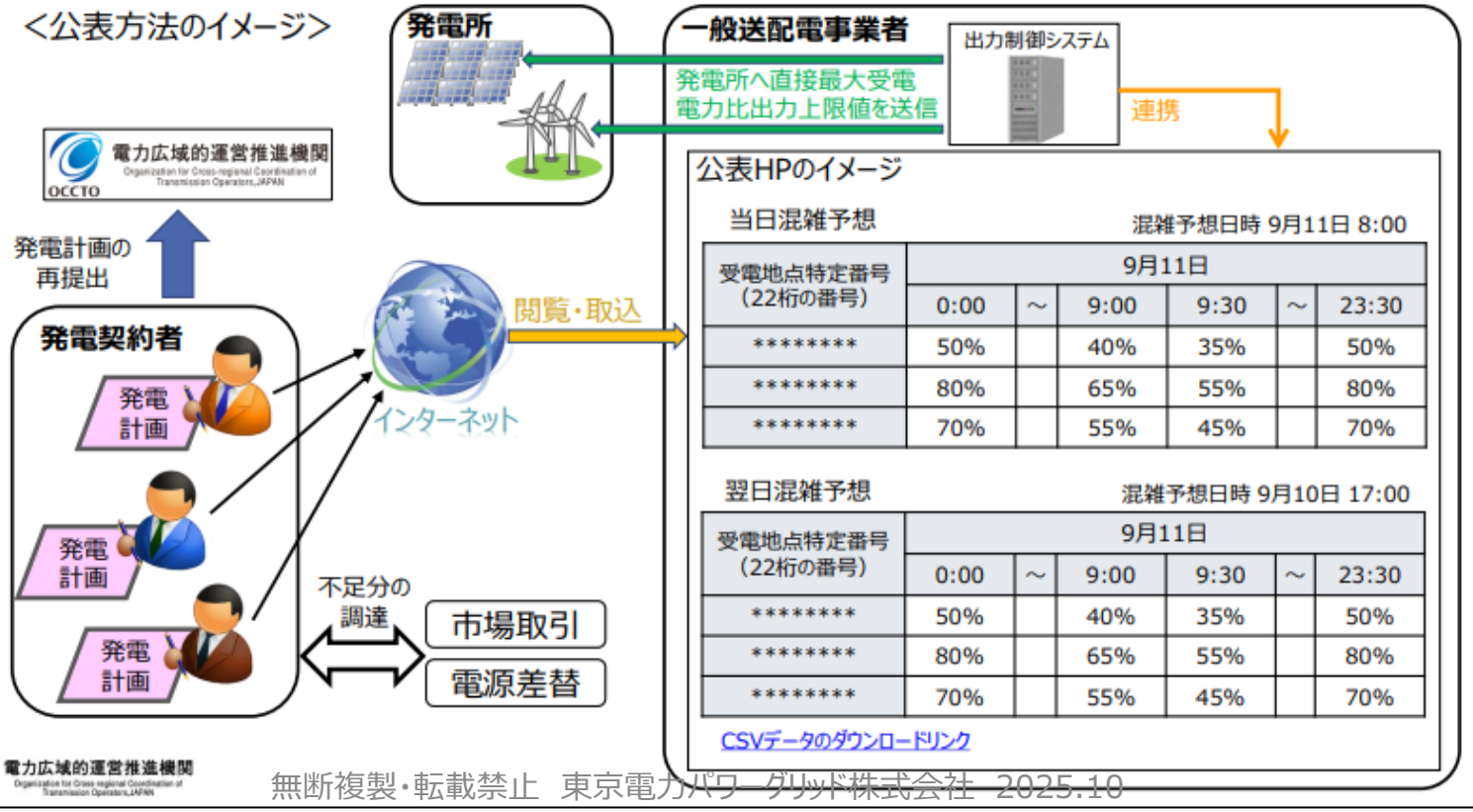
電力広域的運営推進機関　系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム型接続～　2024.7.1更新より抜粋

ローカル系統の混雑管理について　～出力制御量の把握～

35

■ 発電契約者が実需給断面におけるノンファーム電源の制御率を閲覧および取込等できるよう、一般送配電事業者のHP上にノンファーム電源の最大受電電力に対する出力上限値(%)を受電地点特定番号ごとに公表することにより情報提供を行います。

<公表方法のイメージ>



受電地点特定番号（22桁の番号）	9月11日					
	0:00	～	9:00	9:30	～	23:30
********	50%		40%	35%		50%
********	80%		65%	55%		80%
********	70%		55%	45%		70%

受電地点特定番号（22桁の番号）	9月11日					
	0:00	～	9:00	9:30	～	23:30
********	50%		40%	35%		50%
********	80%		65%	55%		80%
********	70%		55%	45%		70%

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

2-4. ノンファーム電源の一律制御（発電契約者による発電計画値の書き換え）

- ✓ 発電契約者による発電計画値の書き換え対象は以下となります。
  - ■ ローカル系統：出力制御順②④⑤⑥は計画値書き換え有り※
  - ■ 基幹系統　：計画値書き換え無し
- ✓ 当社からの混雑予想（最大受電電力比）の通知や公表をもとに、対象電源の確実な発電計画値書き換えをお願い致します。

※ FIT特例制度③については、混雑予想送信後の計画値書き換え無し（計画再提出不要）
FIT特例制度①②については、非FIT電源等と同様、計画値書き換え有り（計画再提出要）

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

2-4. ノンファーム電源の一律制御（発電契約者による発電計画値の書き換え）

電力広域的運営推進機関　系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム型接続～　2024.7.1更新より抜粋

（参考）基幹系統とローカル系統の出力制御について

39

■ 基幹系統とローカル系統の混雑における出力制御については、①および③については同様となりますが、②および④～⑥については、基幹系統の混雑における出力制御ではP24に記載の再給電方式となり、ローカル系統の混雑における出力制御ではP34に記載の発電計画の変更が必要になります。

出力制御順	出力制御方法		
		基幹系統	ローカル系統
① 調整電源の出力制御※1（P53参照）	メリットオーダー	再給電方式	
② ノンファーム型接続の非調整電源（②－1，2）の出力制御 ②－1 ノンファーム型接続の非調整電源のうち、火力電源等※2の出力制御 ②－2 ノンファーム型接続の非調整電源のうち、電力貯蔵システム※3の出力制御※4	一律	再給電方式	発電計画値変更※9
③ ファーム型接続の非調整電源（③－1，2）の出力制御 ③－1 ファーム型接続の非調整電源のうち、火力電源等※5の出力制御 ③－2 ファーム型接続の非調整電源のうち、電力貯蔵システム※3の出力制御※4	メリットオーダー	再給電方式	
④ ノンファーム型接続の非調整電源のうち、バイオマス電源※6の出力制御	一律	再給電方式	発電計画値変更※9
⑤ ノンファーム型接続の非調整電源のうち、自然変動電源（太陽光、風力）の出力制御	一律	再給電方式	発電計画値変更※9
⑥ ノンファーム型接続の非調整電源のうち、バイオマス電源※7および長期固定電源の出力制御	一律	再給電方式	発電計画値変更※9
⑦ 暫定ノンファーム型接続※8の非調整電源のうち、バイオマス電源※6の出力制御	一律	再給電方式	
⑧ 暫定ノンファーム型接続※8の非調整電源のうち、自然変動電源（太陽光、風力）の出力制御	一律	再給電方式	
⑨ 暫定ノンファーム型接続※8の非調整電源のうち、バイオマス電源※7および長期固定電源の出力制御	一律	再給電方式	

※1 揚水式発電機の揚水運転、需給バランス改善用の蓄電設備の充電、余力活用に関する契約を締結する電力貯蔵システムの放電抑制を含む
※2 混焼バイオマス電源、揚水式発電機を含む
※3 系統充電をしない併設蓄電設備の場合は併設発電設備と同等に扱う
※4 放電抑制のみ
※5 混焼バイオマス電源（FITを除く）、揚水式発電機を含む
※6 専焼、地域資源（出力制御困難なもの除く）
※7 地域資源（出力制御困難なもの）
※8 暫定ノンファーム型接続：東北北部エリア電源接続案件募集プロセスで実施した、入札対象工事増強完了後は系統を制約なしに利用できるファーム型接続が、混雑時の出力制御を前提に、入札対象工事増強完了前に接続するスキーム
※9 ノンファーム型接続するFITインバランス特例③電源は、再給電方式に準ずるスキームで対応し、再給電方式と同様に精算する

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

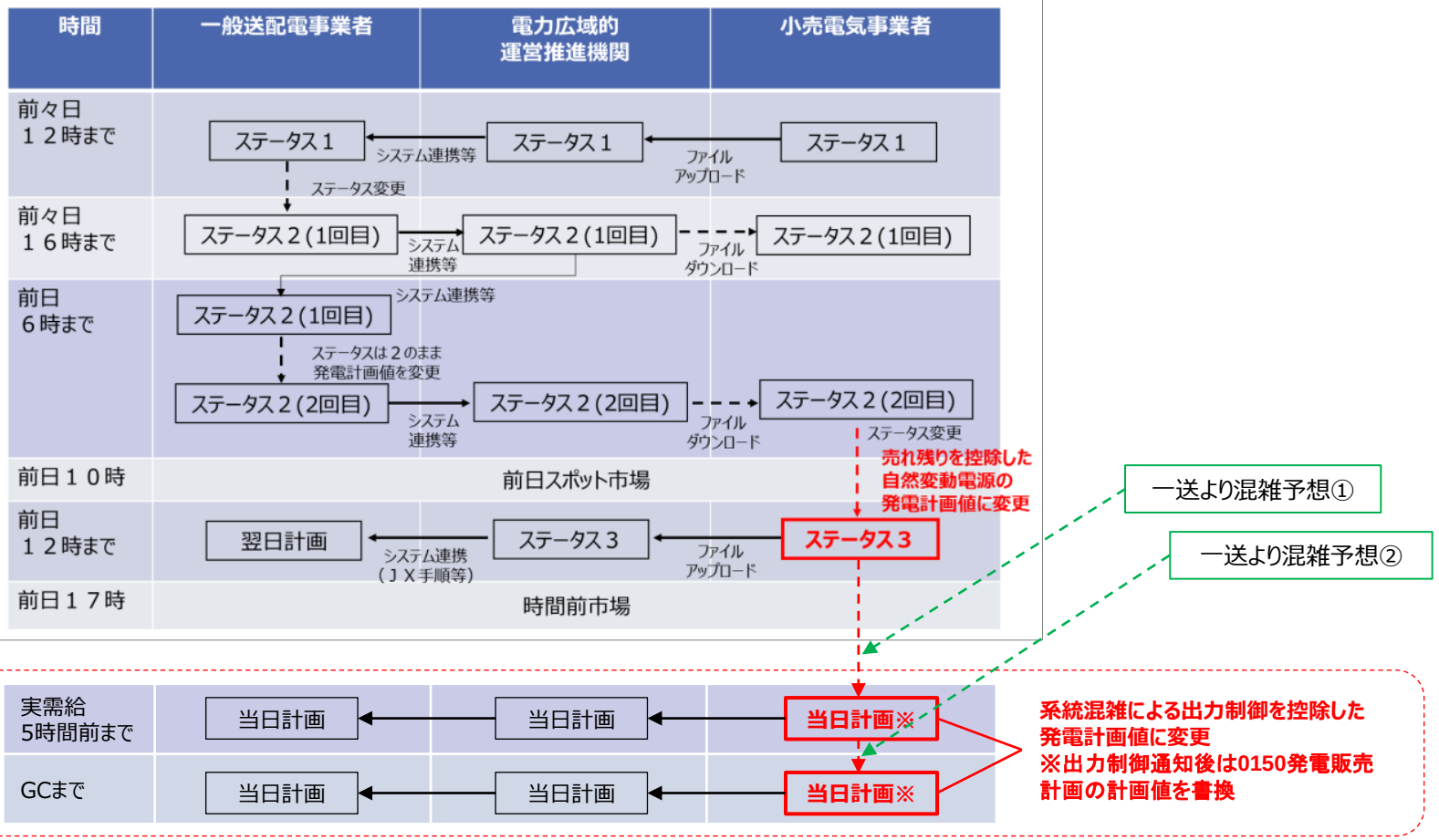
2-4. ノンファーム電源の一律制御（補足：FIT特例①の発電計画値の書き換え）

✓ FIT特例①の系統混雑に伴う発電計画値の書き換えについては、売れ残りを控除した自然変動電源の発電計画値変更以降に実施します。

広域機関　FITインバランス特例制度①の運用方法の変更について（2019年12月）抜粋 ＋ 一部追記

2．計画提出　26

■ 2020年4月以降のFIT特例①の計画提出の業務フロー



無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

3-1. 系統アクセス手続き

- ✓ 2023年4月1日以降に接続検討申込み受付を行った案件については、接続先の電圧階級や空き容量の有無に関わらず、原則としてノンファーム型接続が適用されます。
- ✓ ノンファーム型接続での契約申込み（10kW未満の低圧を除く）に際しては、同意書の提出が必要となります。また、系統連系開始までに混雑時に出力制御が可能となる機器の設置が必要となります。

（参考）ノンファーム型接続の同意書【発電量調整供給契約の場合】 12

1．発電場所住所・発電所名
発電所住所：
発電所名：

2．発電量調整供給契約申込における「ノンファーム型接続」への参加条件

① 国や電力広域的運営推進機関で議論されている「ノンファーム型接続」や「送電線利用ルール見直し」の詳細制度決定前に契約することにより、事後的に契約条件、約款や運用ルール等が変更となり、不利益を生じる場合があるが、その際の不利益を受容し、貴社とのいかなる契約変更等にも応じること。
② 本契約を締結することで、容量市場および需給調整市場に参加できない場合は、これを容認すること。
③ 系統混雑時の無補償での出力制御（オンライン制御）を前提に、系統連系開始までに出力制御に必要な機器*を導入すること。
④ 出力制御機器の導入や出力制御は貴社の求めに応じること。
⑤ 系統混雑時の発電出力制御によるインバランス等のリスクを負うよう制度変更される場合は、これを容認すること。
⑥ 流通設備を停止して、保守点検や設備改修等を実施する場合は、「ノンファーム型接続」により接続された発電設備を優先的に抑制すること。
⑦ 多くの発電機が同時に接続することにより、事故電流が許容値を超える場合等、系統混雑時でなくとも系統から解列すること。
⑧ 上記①～⑦により被る損害および事前周知した方法に基づく系統混雑時の出力制御に伴い当社に生じた損害について、貴社に対して一切の責任および損害賠償を求めないこと。
⑨ 本参加条件に反することにより、発電量調整供給契約を解除されても貴社に対して異議を申し立てないこと。
⑩ 「ノンファーム型接続」への参加条件について発電者の承諾を得ていること。なお、貴社が求める場合は承諾を得ていることを証明する文書を提出すること。
＊ 貴社出力制御指示と連動する出力制御ユニットおよび、出力制御対応パワーコンディショナー（PCS）等必要な装置をいう。

（出典）第22回 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 資料1

電力広域的運営推進機関

（参考）ノンファーム型接続の同意書【電力受給契約の場合】 13

1．発電場所住所・発電所名
発電所住所：
発電所名：

2．電力受給契約申込における「ノンファーム型接続」への参加条件

① 国や電力広域的運営推進機関で議論されている「ノンファーム型接続」や「送電線利用ルール見直し」の詳細制度決定前に契約することにより、事後的に契約条件、約款や運用ルール等が変更となり、不利益を生じる場合があるが、その際の不利益を受容し、貴社とのいかなる契約変更等にも応じること。
② 本契約を締結することで、容量市場および需給調整市場に参加できない場合は、これを容認すること。
③ 系統混雑時の無補償での出力制御（オンライン制御）を前提に、系統連系開始までに出力制御に必要な機器*を導入すること。
④ 出力制御機器の導入や出力制御は貴社の求めに応じること。
⑤ 系統混雑時の発電出力制御によるインバランス等のリスクを負うよう制度変更される場合は、これを容認すること。
⑥ 流通設備を停止して、保守点検や設備改修等を実施する場合は、「ノンファーム型接続」により接続された発電設備を優先的に抑制すること。
⑦ 多くの発電機が同時に接続することにより、事故電流が許容値を超える場合等、系統混雑時でなくとも系統から解列すること。
⑧ 上記①～⑦により被る損害および事前周知した方法に基づく系統混雑時の出力制御に伴い当社に生じた損害について、貴社に対して一切の責任および損害賠償を求めないこと。
⑨ 本参加条件に反することにより、電力受給契約を解除されても貴社に対して異議を申し立てないこと。
＊ 貴社出力制御指示と連動する出力制御ユニットおよび、出力制御対応パワーコンディショナー（PCS）等必要な装置をいう。

（出典）第22回 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 資料1

電力広域的運営推進機関

電力広域的運営推進機関　系統の接続および利用ルールについて　～ノンファーム型接続～　2024.7.1更新　より抜粋

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

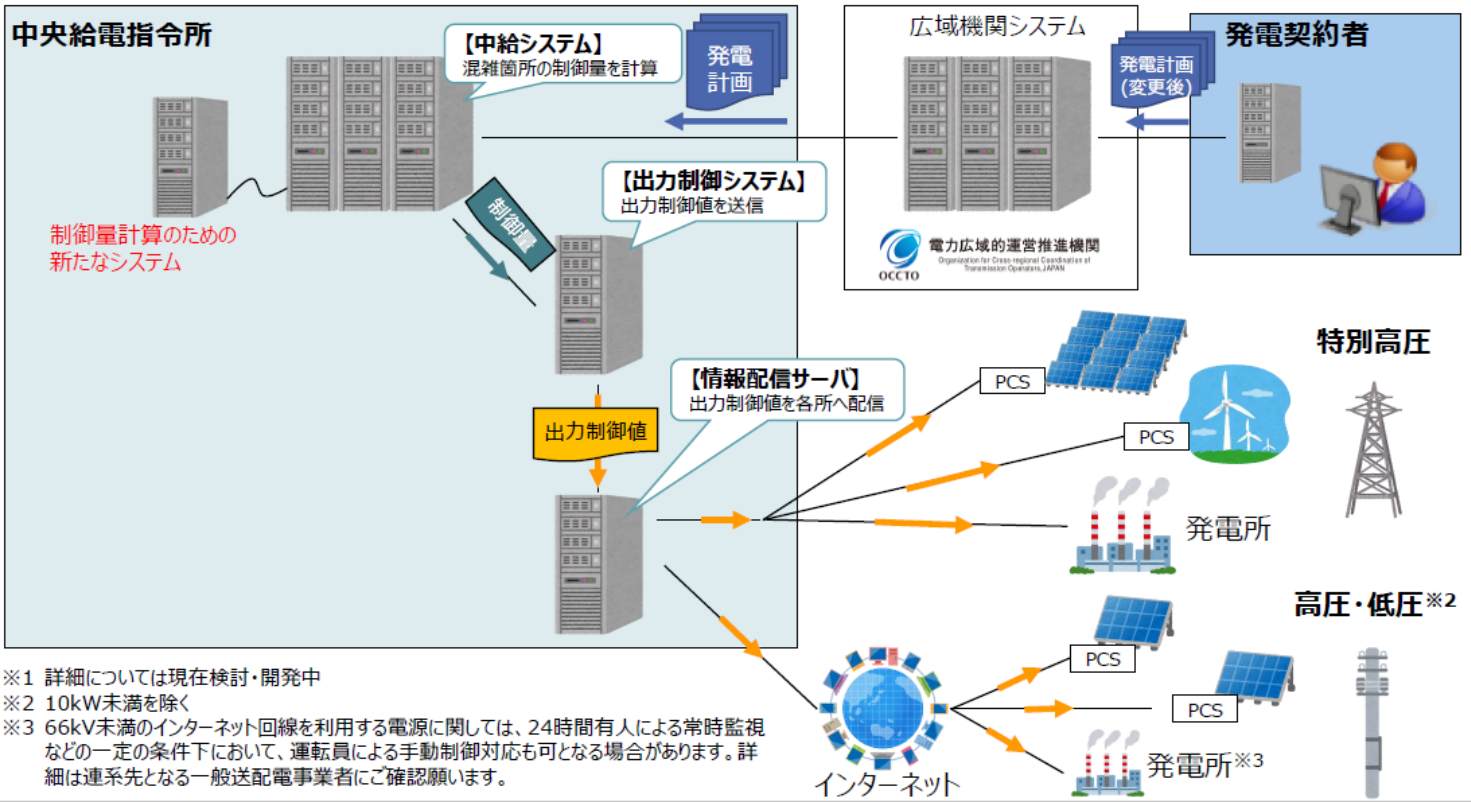
3-2. 系統アクセスに必要となる制御装置の概要

（参考）ノンファーム電源の制御システム仕様等（イメージ）

38

■ 事業者から提出される発電計画や需要計画の他、一般送配電事業者が行う再エネの出力予測や需要予測等から潮流を想定し混雑量を計算し、混雑を加味した出力制御値が一般送配電事業者から発電所のPCS等に対し直接送信されます。

【システム構成のイメージ※1】



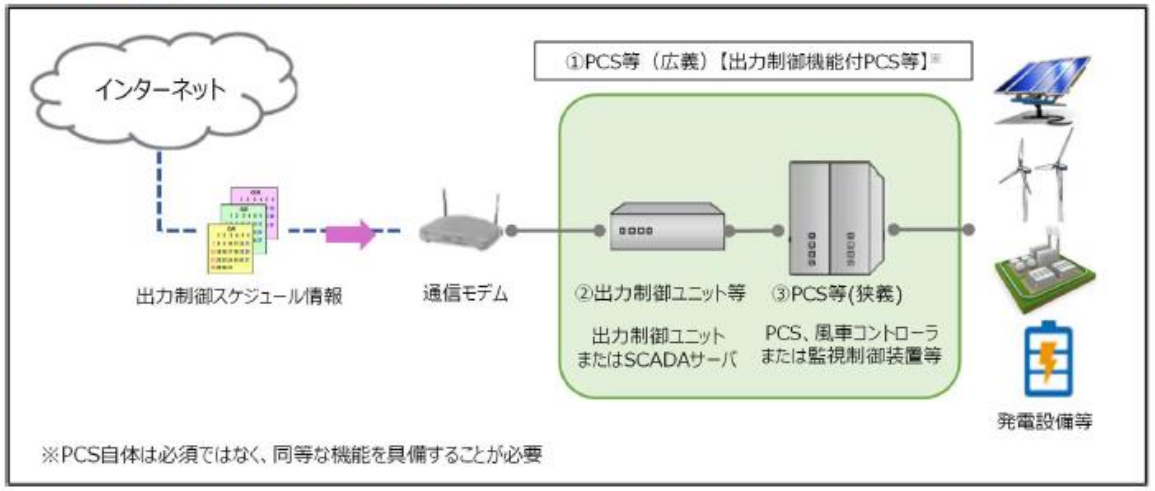
※1 詳細については現在検討・開発中
※2 10kW未満を除く
※3 66kV未満のインターネット回線を利用する電源に関しては、24時間有人による常時監視などの一定の条件下において、運転員による手動制御対応も可となる場合があります。詳細は連系先となる一般送配電事業者にご確認願います。

電力広域的運営推進機関　系統の接続および利用ルールについて　～ノンファーム型接続～　2024.7.1更新　より抜粋

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

3-2. 系統アクセスに必要となる制御装置の概要（66kV未満）

＜出力制御機能付 PCS 等システムの構成＞



①PCS 等（広義） 出力制御機能付 PCS 等	一般送配電事業者または配信事業者が提示する出力制御スケジュール情報を取得し，そのスケジュールに応じて発電出力等を制御する機能を有する装置と定義する。基本的には「②出力制御ユニット等」と「③PCS 等（狭義）」から構成する。（②，③の機能を一体化したシステムもある）
②出力制御ユニット等	電力サーバまたは配信事業者サーバから出力制御スケジュールを取得し，出力制御スケジュールに基づいて，「③PCS 等（狭義）」を制御する機能をもつ制御装置と定義する。外部通信機能がない場合でも，ユニット内に保存された固定スケジュールにより，「③PCS 等（狭義）」を制御する。
③PCS 等（狭義）	従来の PCS，風車コントローラまたは監視制御装置等の機能に加え，「②出力制御ユニット等」から出力制御情報を受けて，発電出力等（上限値）を制御する装置と定義する。

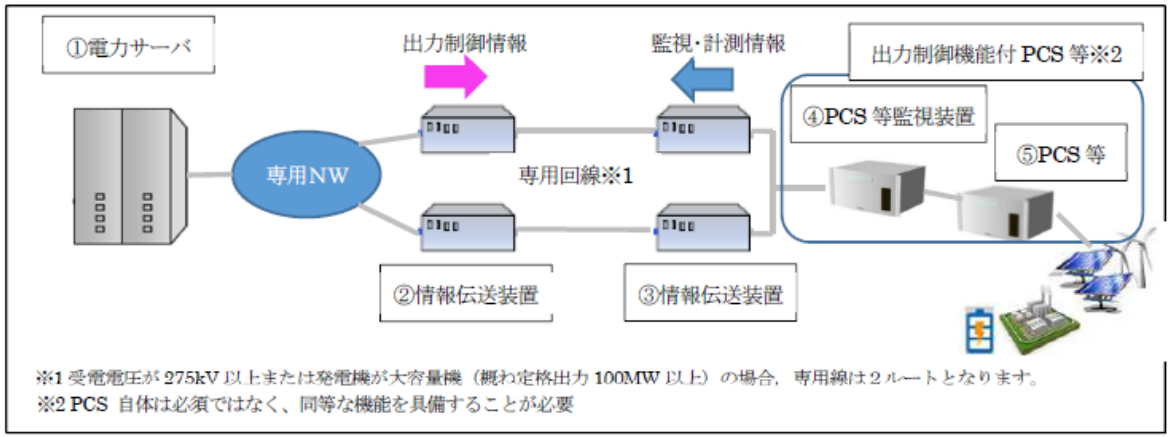
※ PCS 等（狭義）と出力制御ユニット等は，製造メーカが異なっても，PCS 等（広義）の仕様を満たすものとする。

2023.6.30 東京電力パワーグリッド 出力制御機能付PCS等（66kV未満）技術仕様書 より抜粋

無断複製・転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社 2025.10

3-2. 系統アクセスに必要となる制御装置の概要（66kV以上）

＜出力制御システムの構成（66kV 以上）イメージ＞



一般送配電事業者設備	①電力サーバ	予め定められたフォーマットで作成された出力制御情報を発電事業者へ伝送する装置
	②情報伝送装置（一般送配電事業者事業所内設置）	専用回線を通じて「①電力サーバ」の出力制御情報を発電事業者へ送信，「④PCS 等監視装置」から送信された発電事業者の監視･計測情報を受信する装置
	③情報伝送装置（発電事業者構内設置）	専用回線を経由して「①電力サーバ」から送信された出力制御情報を受信して「④PCS 等監視装置」へ伝送，「④PCS 等監視装置」から送信された発電事業者の監視計測情報を伝送する装置
発電事業者設備	④PCS 等監視装置	「①電力サーバ」より受信した出力制御情報に基づいて「⑤PCS 等」を制御する機能および発電事業者内の監視･計測情報を伝送する機能を持つ制御装置
	⑤PCS 等	従来の PCS，風車コントローラまたは監視制御装置等の機能に加え，「④PCS 等監視装置」からの出力制御情報を受けて発電出力等（上限値）を制御する機能を有する装置

2023.6.30 東京電力パワーグリッド　出力制御機能付PCS等（66kV以上）技術仕様書　より抜粋

無断複製･転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

3-3. 発電計画の提出方法

- ✓ 系統混雑時に低圧接続の電源に対して正しく出力制御を行うためには、発電所が接続する配電用変電所毎に発電計画値を提出していただく必要があります。
- ✓ 2026年度に系統混雑が予想される設備に接続している、もしくは今後接続する低圧の発電所については以下のとおり発電計画値の提出方法の変更をお願いいたします。
  ※既に発電所毎に個別の発電計画値を提出している場合は対応不要です。

○発電計画値の提出方法変更

現在の提出方法

複数の発電所の発電計画値を
１系統コードにまとめて提出

発電
計画

電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators,JAPAN
OCCTO

今後の提出方法

複数の発電所の発電計画値を
配変毎かつ電源種別毎にまとめて提出

配変D
配変C
配変B
配変A
発電
計画

電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators,JAPAN
OCCTO

※対応が必要な発電所の一覧については個別に発電契約者にお渡しします。

電力広域的運営推進機関　かいせつ電力ネットワーク「系統の接続および利用ルールについて ～ノンファーム型接続～」 ５８ページ参照
https://www.occto.or.jp/grid/business/documents/NF_setsuzokuriyou_20240902.pdf

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

3-4. 低圧における系統コード変更の対応

✓ 対象の連系済、申込中の電源は、**配変毎かつ電源種別毎の系統コード**に変更が必要となります。
✓ 電力広域的運営推進機関（OCCTO）へ申請手続きを行っていただき、指定の様式にて2026年2月13日までに当社ネットワークサービスセンターへお申込みください。

〇指定様式
系統コード変更申込書

〇対象電源
2026年度に系統混雑が予想される設備に接続している，もしくは今後接続する低圧の発電所（10kW未満の家庭用の電源を除く）
※対応が必要な発電所の一覧については個別に発電契約者にお渡しします。

〇申込先
東京電力パワーグリッド株式会社ネットワークサービスセンター
低圧連系・卸業務グループ　宛

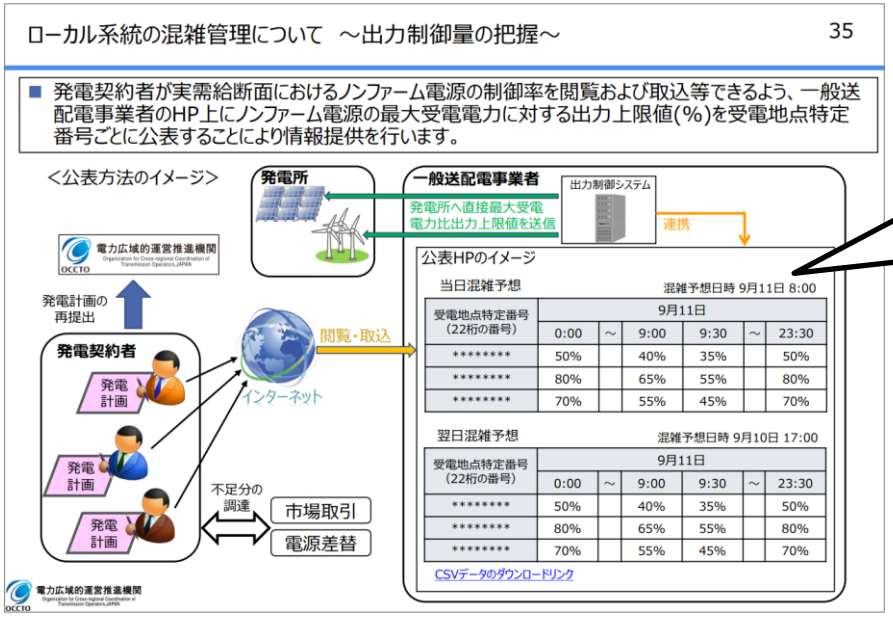
・E-mail：01tepconsc@tepco.co.jp
※メール送信時の注意：申込書はエクセルファイルにて送付ください。
・Tel：03-3509-1709　アナウンスの後「2」→「3」
・受付時間：9時～12時および13時～17時（年末年始（12月29日～1月3日），土曜・日曜・祝日は除く）

〇申込期日
2026年2月13日

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

3-5. 受電地点特定番号と出力上限値をＨＰ公表することに関する同意について

- ✓ 受電地点特定番号と出力上限値を組み合わせた情報は個人情報にあたるため、当社が当社ＨＰに受電地点特定番号と出力上限値を公表するためには当該発電所を所有する発電事業者様から公表に関する同意をいただく必要があります。
- ✓ 2026年1月1日以降、発電所新設に伴う契約をお申込の際は発電事業者様からＨＰ公表に関する同意をいただき、「系統混雑予想ウェブサイトへの受電地点番号の公表について【同意書】」を契約申込書と併せてご提出下さい。
- ✓ 既に当社系統に接続済みで2026年度に系統混雑が予想される設備に接続しているノンファーム型接続の電源と、同設備に対して接続を申込中の電源については、発電事業者様からＨＰ公表に関する同意をいただき、「系統混雑予想ウェブサイトへの受電地点番号の公表について【同意書】」をご提出下さい。



ＨＰ公表するためには発電事業者様からの同意が必要

※ 対応が必要な発電所の一覧については個別にご連絡します。

電力広域的運営推進機関　かいせつ電力ネットワーク「系統の接続および利用ルールについて ～ノンファーム型接続～」 ３５ページ参照
https://www.occto.or.jp/grid/business/documents/NF_setsuzokuriyou_20240902.pdf

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

3-5. 受電地点特定番号と出力上限値をＨＰ公表することに関する同意について(対応)

- ✓ 2026年1月1日以降、発電所新設に伴う契約をお申込のノンファーム型接続の電源は、「系統混雑による発電計画の変更に関する情報予想ウェブサイトへの受電地点番号の公表について【同意書】」の提出が必要となります。
  指定の様式を契約申込書と併せて当社ネットワークサービスセンターへご提出下さい。
- ✓ 対象の連系済、申込中のノンファーム型接続の電源は、「系統混雑による発電計画の変更に関する情報予想ウェブサイトへの受電地点番号の公表について【同意書】」の提出が必要となります。
  指定の様式を2026年2月28日までに当社ネットワークサービスセンターへご提出ください。

〇指定様式

系統混雑による発電計画の変更に関する情報予想ウェブサイトへの受電地点番号の公表について【同意書】

〇対象電源

１．2026年1月1日以降，発電所新設に伴う契約をお申込の特別高圧・高圧・低圧の非FIT，FIT特例①，FIT特例②の発電所（10kW未満の家庭用の電源を除く）

２．2026年度に系統混雑が予想される設備に接続している，もしくは今後接続する特別高圧・高圧・低圧の非FIT，FIT特例①，FIT特例②の発電所（10kW未満の家庭用の電源を除く）

※対応が必要な発電所の一覧については個別に発電契約者にお渡しします。

〇提出先

東京電力パワーグリッド株式会社ネットワークサービスセンター
特別高圧：特高連系グループ　宛　E-mail：03tepconsc@tepco.co.jp
高圧：高圧連系グループ　宛　E-mail：02tepconsc@tepco.co.jp
低圧：低圧連系・卸業務グループ　宛　E-mail：01tepconsc@tepco.co.jp

・Tel：03-3509-1709

・受付時間：9時～12時および13時～17時（年末年始（12月29日～1月3日）、土曜・日曜・祝日は除く）

〇対象電源２の提出期日

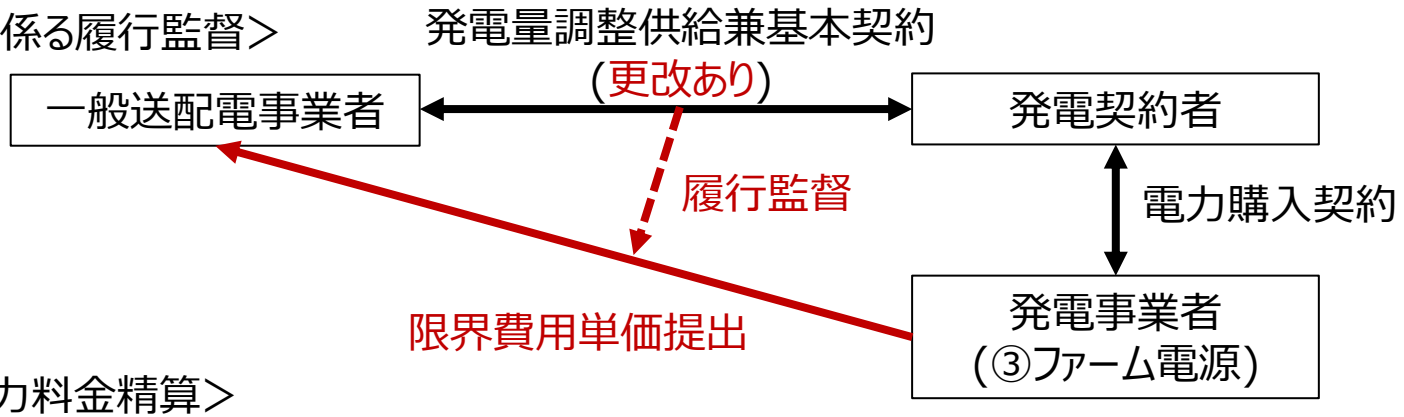
2026年2月28日

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

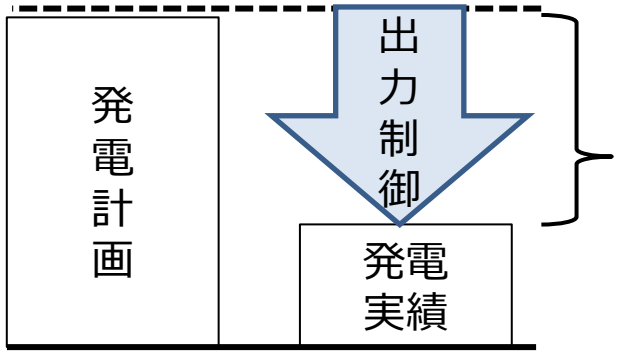
4-1. 発電量調整供給兼基本契約書の契約更改

- ✓ ③ファーム電源に対してはメリットオーダーによる出力制御のための限界費用単価提出に関して、発電量調整供給兼基本契約書を更改いたします。
- ✓ 契約更改は③ファーム電源との契約有無にかかわらず、全ての発電契約者が対象となります。
- ✓ 契約更改における主な変更点は以下の通りです。
  - ■ 系統混雑が発生する系統に接続する③ファーム電源の発電事業者が系統混雑発生予測期間において一般送配電事業者へ限界費用単価を提出すること
  - ■ 系統混雑による出力制御に対し、給電指令時補給電力料金は限界費用単価を適用すること

＜限界費用単価提出に係る履行監督＞



＜給電指令時補給電力料金精算＞



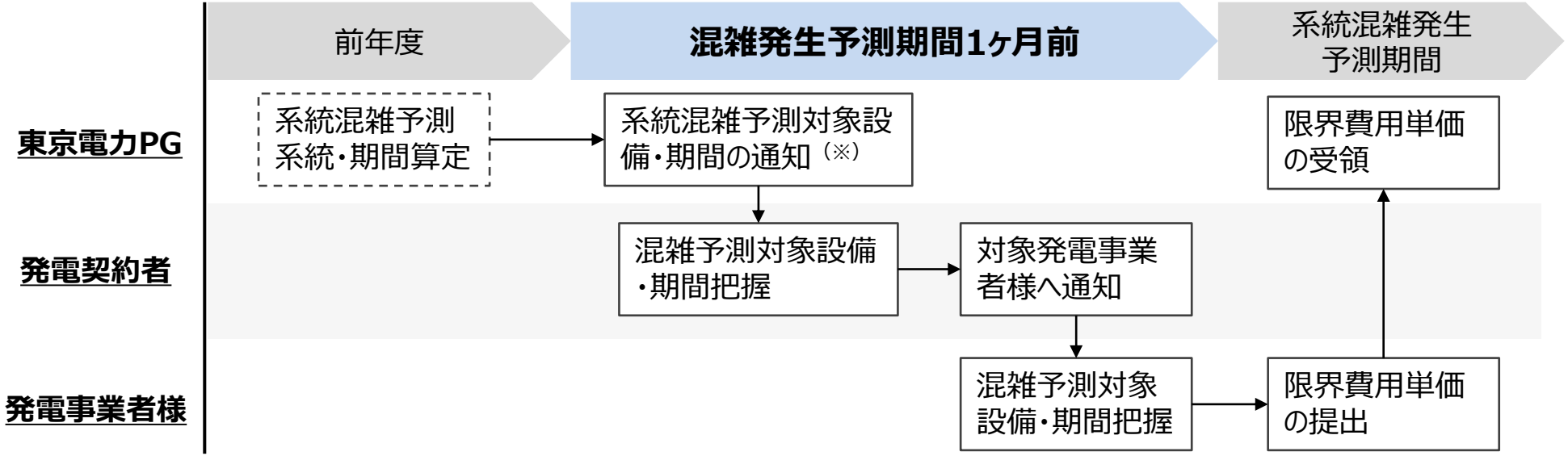
給電指令時補給電力料金＝出力制御量　×　**限界費用単価**

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

4-2. 系統混雑発生予測対象設備・期間に関わる通知

- ✓ 系統混雑の発生が予測される系統、ならびにその期間については、前年度に当社が算定を行います。
- ✓ 算定の結果、系統混雑の発生が予測される系統に接続する③ファーム電源と契約している発電契約者へ発生予測期間の１ヶ月前までにご登録いただいているメールアドレスへ以下事項を含め通知させていただきます。
  - ■ 契約している設備が限界費用単価提出の対象となったこと
  - ■ 対象の設備名称、受電地点特定番号等の詳細
  - ■ 系統混雑が発生することが予測される期間
  - ■ 限界費用単価提出を求めるファイルフォーマット

＜限界費用単価を提出いただくまでのイメージ＞



（※）混雑系統予測期間毎に当社から通知させていただきます。

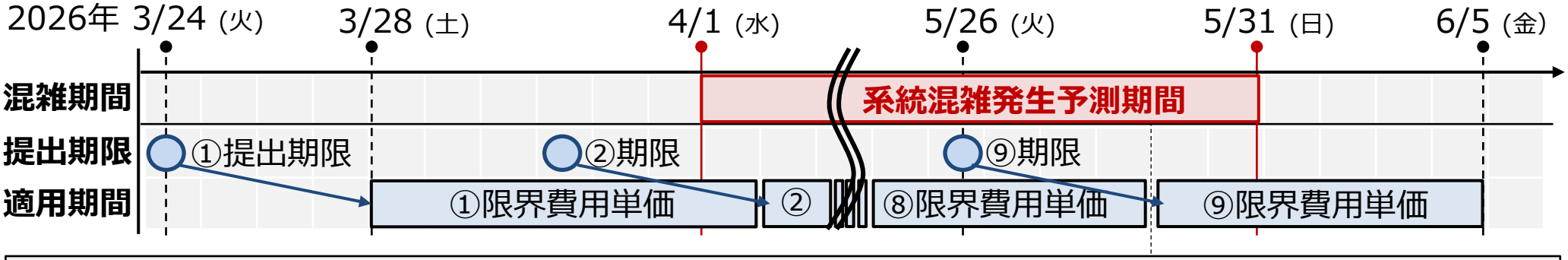
無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

4-3. 限界費用単価提出

✓ 混雑系統に接続する③ファーム電源につきましては、以下の通り限界費用単価を提出いただきます。
- ■ 単価算定：1キロワット時追加的に発電する際に必要となる燃料費等(発電側課金における1キロワット時課金分を含む。)から消費税相当額を除き、当該単価が適用される１週間の平均値を銭単位で算定
- ■ 提出期間：1単価当たり土曜日～金曜日までの1週間に適用し、系統混雑発生予測期間が属する週に対して提出
- ■ 提出期限：適用期間前週火曜日14時(火曜日が祝日の場合、前営業日の14時)
- ■ 提出方法：所定の限界費用単価CSVファイルをメール添付(メールアドレスは別途お知らせします)

※ 調整電源については、余力の運用規程にもとづき需給調整市場システムへ単価登録いただきます。

＜限界費用単価を提出いただくイメージ＞



〇系統混雑発生予測期間が2026年4月1日～2026年5月31日の場合の限界費用単価提出は以下の通りです。
- ■単価算定：単価適用期間の1週間における限界費用単価の平均的な値として下さい。
- ■提出期間：系統混雑発生予測期間が属する週(2026年3月28日～2026年6月5日）に対して１週間ごとです。
- ■提出期限：適用期間前週火曜日14時(火曜日が祝日の場合、前営業日の14時)で初回は2026年3月24日（火）14時となります。
- ■提出方法：所定の限界費用単価CSVファイルをメール添付お願いします。

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

4-4. 代替単価

- ✓ 混雑系統に接続する③ファーム電源につきましては、限界費用単価を提出期限までに提出いただけなかった場合または、提出いただいた限界費用単価に不備があった場合は代替単価を適用し、出力制御ならびに精算いたします。
- ✓ 代替単価は限界費用単価の適用期間である1週間に対して1年前のインバランス単価における平均値とします。

＜代替単価が適用される例＞

提出期限超過または未提出

2026/4/21(火)14時　　2026/4/25(土)～5/1(金)

提出期限

提出内容の不備

〇限界費用単価提出CSVファイル

開始年月日	2026/04/26
終子年月日	2026/05/02

→ ✕ 土曜日となっていない

→ ✕ 金曜日となっていない

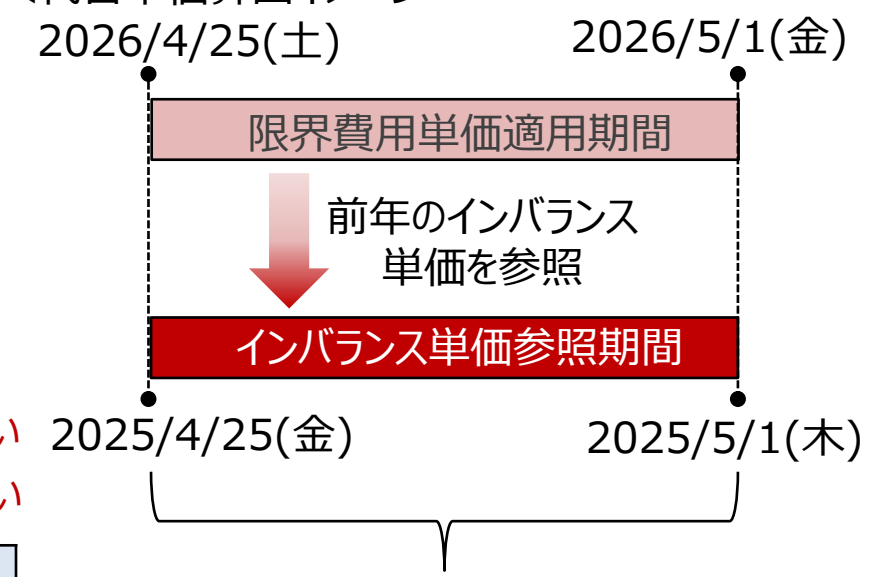
受電地点特定番号	**系統コード**	**発電所名**	**限界費用単価**
03***2	5 GFCB	EH発電所	8

✕ 22桁の半角英数字でない

✕ 系統コード誤り

✕ 銭単位まで記載していない

＜代替単価算出イメージ＞



前年同月同期間となる2025/4/25(金)～2025/5/1(木)における東京エリアのインバランス単価の平均値を限界費用単価の代替単価として算出します。

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

5-1. 給電指令時補給における精算

- ✓ メリットオーダーにて③ファーム電源の出力制御を実施した場合は、提出いただいた限界費用単価を給電指令時補給電力量単価として精算いたします。
- ✓ なお、①調整電源の出力制御実施した場合は、余力活用に関する契約にもとづき精算します。

	出力制御の種類	混雑処理時の電制対象系統	対象電源の電圧階級	精算方法	精算単位	精算単価
ローカル系統混雑	NF電源一律制御(これまで)	**ローカル系統**	特高	給電指令時補給	BG単位	インバランス単価
		配電系統(高圧)	高圧			
		配電系統(低圧)	低圧(10kW以上)	インバランス	BG単位	インバランス単価
	ローカル系統混雑時の出力制御(一定の順序)(2026年度～)	**ローカル系統**	特高	給電指令時補給	【F】地点単位 【NF】BG単位	**【F】限界費用** 【NF】インバランス単価※
		配電系統(高圧)	高圧			
		配電系統(低圧)	低圧(10kW以上)	インバランス*1	BG単位	インバランス単価
基幹系統混雑	再給電方式(一定の順序)(2023年12月～)	**基幹系統**	特高	給電指令時補給	地点単位	【F】限界費用 【NF】スポット単価
		ローカル系統	特高			

*1：低圧は給電指令時補給の対象外のため、インバランスで精算

【F】ファーム電源 / 【NF】ノンファーム電源

無断複製・転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社 2025.10

参考資料

1. 発電計画の提出方法の変更

2. 発電計画値と実績の差の取り扱い

3. 発電事業者向けへの情報公開

4. HP公表のイメージ

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考1. 【低圧】発電計画の提出方法の変更

- ✓ 新規で接続する低圧電源、および既に接続済の低圧電源で、スライド23に記載の条件に当てはまる場合は、**配変毎かつ電源種別毎の系統コード**にてお申込みが必要となります。
- ✓ 予め電力広域的運営推進機関（OCCTO）へ申請手続きを行っていただき、当社へお申込みください。
  ※ 再生可能エネルギー電気特定卸供給契約のノンファーム型接続の電源も同様にお手続きが必要となります。
- ✓ ファーム接続の電源については、引き続き低圧発電群での系統コードにてお申込みとなります。

○発電設備の新設・増設に関するお申込み

対象外の設備に接続する発電所

事前協議（必要に応じて） → 発電量調整供給契約申込・需要側契約確認 → 技術協議・連系検討 → 設計・用地交渉 → 発電量調整供給契約申込の承諾 → 工事費負担金のお支払い → 工事実施 → 発電開始 → 工事費負担金の清算

従来どおりのお申込みとなります

対象の設備に接続する発電所※1※2

電力広域的運営推進機関へのマスタ申請 → 電力広域的運営推進機関より完了通知受領

10営業日*程度

＊電力広域的運営推進機関ホームページ－マスタ申請・登録の手引き（2020年11月16日）引用

事前協議（必要に応じて） → 発電量調整供給契約申込・需要側契約確認 → 技術協議・連系検討 → 設計・用地交渉 → 発電量調整供給契約申込の承諾 → 工事費負担金のお支払い → 工事実施 → 発電開始 → 工事費負担金の清算

※1 お申込み時の系統コードが電力広域的運営推進機関の登録と一致しない場合は差戻しとなりますのでご注意ください
※2 今後の国の議論状況により再度低圧発電群単位での系統コードによるお申し込みが必要になる場合がございます

無断複製・転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社 2025.10

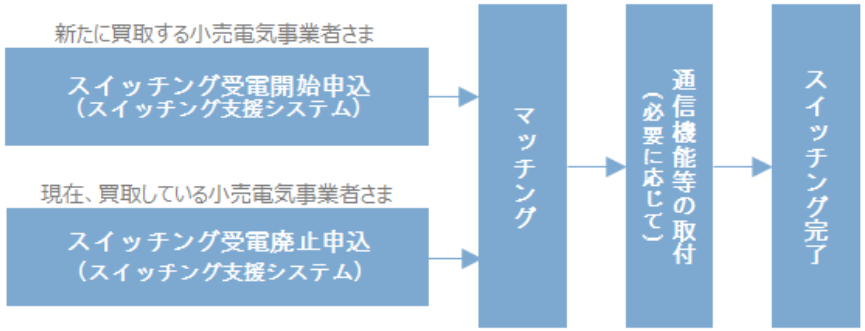
参考1. 【低圧】発電計画の提出方法の変更

✓ 低圧の発電所で配変毎かつ電源種別毎の系統コードに変更した後にスイッチングする場合は再度系統コードを変更する必要があります。

○スイッチング（買取事業者変更）に関するお申込み

対象外の設備に接続する発電所

従来どおりのお申込みとなります



対象の設備に接続する発電所

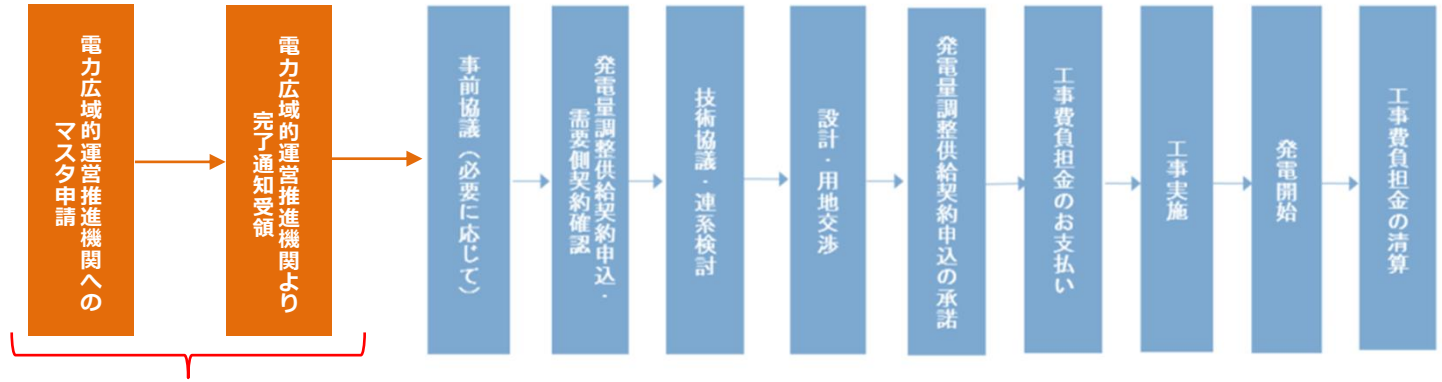
スイッチング支援システムで受付することができないため
お申込はスライド２３に記載のメールアドレスにお願いします

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考1. 【高圧・特別高圧】発電計画の提出方法

✓ 高圧・特別高圧の電源は、**受電地点特定番号ごとの系統コード**にてお申込みが必要となります。予め電力広域的運営推進機関（OCCTO）へ申請手続きを行っていただき、当社へお申込みください。
※再生可能エネルギー電気特定卸供給契約のノンファーム型接続も同様に申請手続きが必要となります。

○発電設備の新設・増設に関するお申込み



10営業日*程度

＊電力広域的運営推進機関ホームページ－マスタ申請・登録の手引き（2020年11月16日）引用

※お申込み時の系統コードが電力広域的運営推進機関の登録と一致しない場合は差戻しとなりますのでご注意ください

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考1. 【高圧・特別高圧】発電計画の提出方法

✓ 高圧・特別高圧のノンファーム型接続の電源でスイッチングする場合は、従来どおり**受電地点特定番号ごとの系統コード**にてお申込みが必要となります。

○スイッチング（買取事業者変更）に関するお申込み

ファーム型接続、ノンファーム型接続問わず

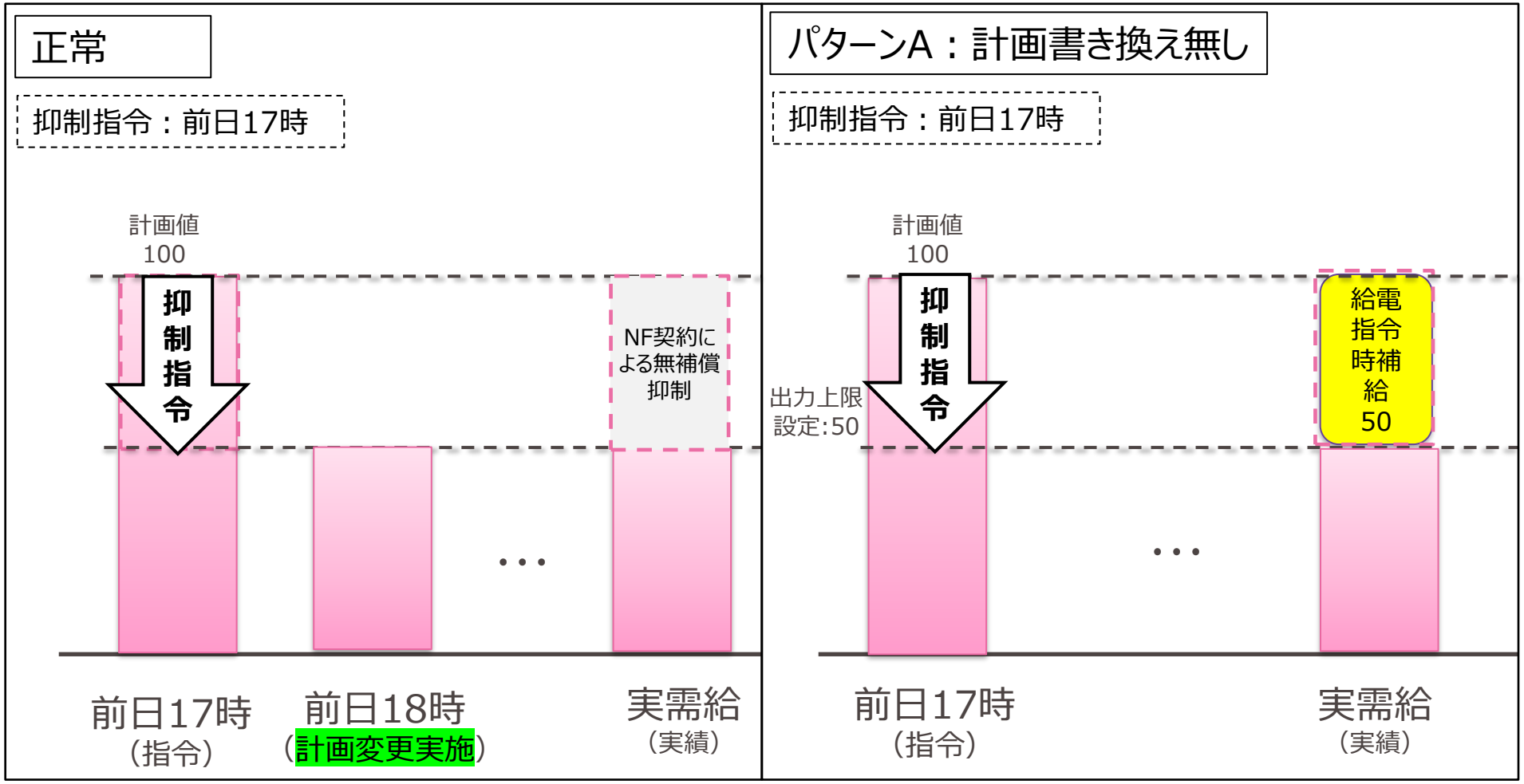
従来どおりメールでのお申込みをお願いします

詳しくは以下のＵＲＬから当社ホームページにてご確認ください
https://www.tepco.co.jp/pg/consignment/fit/corporate.html

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考2. パターンA：計画変更なしの場合の扱い（NF高圧以上）

✓ ローカル系統のNF電源一律抑制では、発電契約者には、発電販売計画の修正（計画書き換え）を行って頂きます。発電契約者における計画書き換え業務が漏れた場合などに発生する、計画実績差分の扱いについては以下のとおりです。



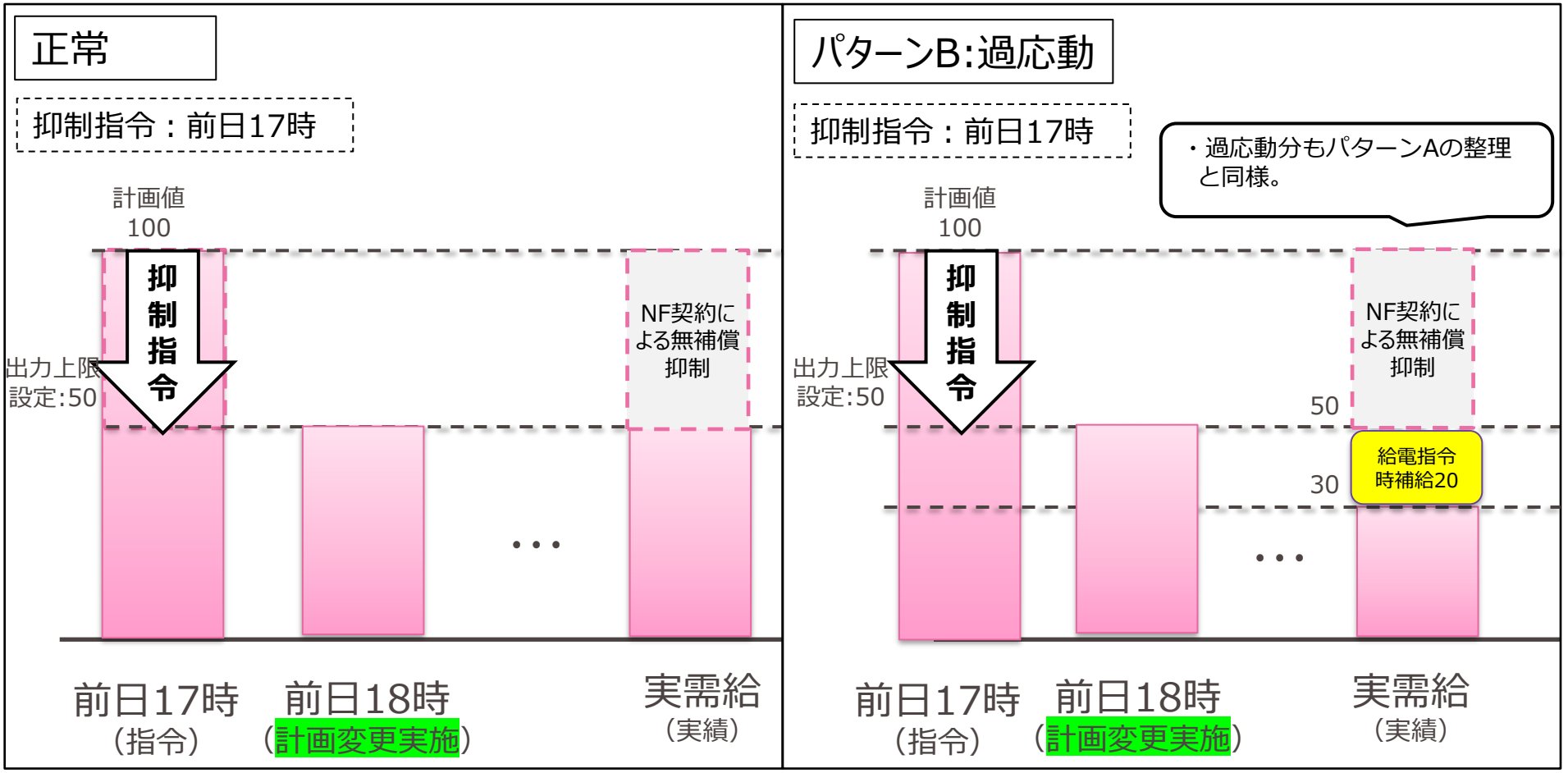
無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考2. パターンB：過応動時の扱い（NF高圧以上）

✓ 発電販売計画を修正（計画書き換え）を実施した上で、計画と実績の差が生じた場合（過応動）の扱いについては以下のとおりです。

※基本的にはローカルノンファームは一般送配電事業者が抑制指令値をオンラインで設定し制御するため、指令値以上の発電実績となるのは、制御機器不良または発電機トラブル等のケースに限定と思料。

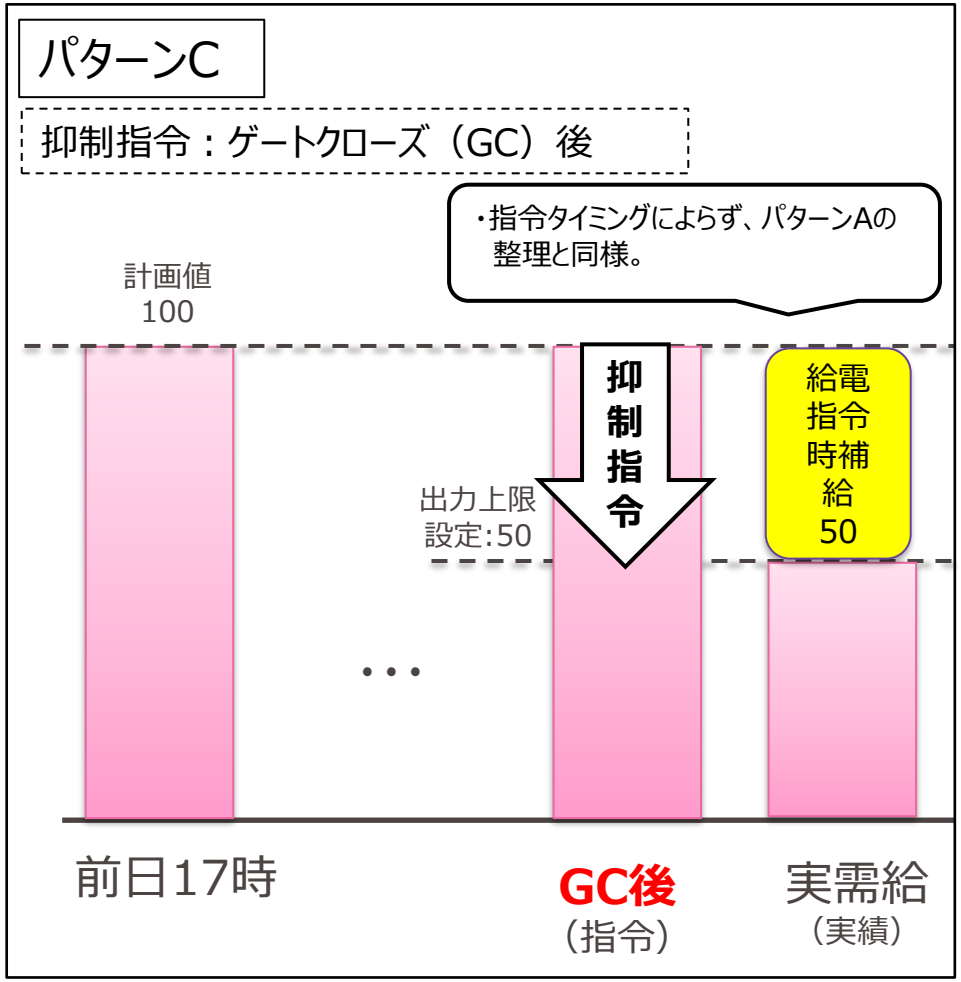
※NF電源一律制御の出力制御(下げ指令）に対して、逆応動となった場合は、その応動量をインバランスとして扱います。



無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考2. パターンC：ゲートクローズ以降での指令の場合

✓ 発電販売計画の修正（計画書き換え）が間に合わないタイミングでの抑制指令にて生じた、計画実績差の扱いについては以下のとおりです。



無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考3. 系統情報の公開・開示

✓ 2023年4月1日からローカル系統のノンファーム型接続の受付を開始するにあたり、将来的な事業収益性を適切に評価するために、系統混雑による出力制御の予見可能性を高めるようにします。現状提案されている系統情報の公開・開示の内容は以下の通りの考え方となります。

2022.12.27 再生可能エネルギー大量導入・
次世代電力ネットワーク小委員会（第48回）資料1より抜粋

（２）系統情報の公開・開示

- ローカル系統にノンファーム型で接続する電源について、将来的な事業収益性を適切に評価するためには、**系統混雑による出力制御の予見可能性を高めることが重要**となる。
- 将来的な系統混雑を予測する上で必要となる**潮流実績や予測潮流、送電線の投資計画等の系統情報は、一般送配電事業者や広域機関が保有**している。このため、発電事業者等が系統混雑による出力制御のシミュレーションを行い、その精度を高めるためには、**これらの情報を適切に公開・開示していく必要**がある。
  ※系統混雑の見通しについては、一般送配電事業者や広域機関によるシミュレーションの実施を求める声もあるが、その必要性については、費用便益等の観点から、引き続き検討が必要。
- よって、基幹系統に関する情報の公開・開示にならい、**ローカル系統についても基幹系統と同様の項目を公開・開示することを基本**としてはどうか。
- 具体的には、まず、**公開する情報**については、供給計画がないといった**ローカル系統固有の特徴を踏まえ**、例えば、空き容量算定方法における想定潮流を予想潮流とするなど、**次頁ページのように対応することとしてはどうか**。
- また、請求を受けて特定の事業者に**開示する情報**については、**基幹系統と同様の項目とすることとしてはどうか**。
  ※現状、66kV以上154kV未満の系統に接続する電源の具体的な系統構成上の立地は明らかにしないこととしているが、基幹系統と同様に系統構成上の立地を明らかにする。
- 更に、**配電用変電所以下**に接続する電源の情報については、費用便益等を鑑み、**個別電源ではなく、電源種別ごと（太陽光、風力、その他電源等）の合計容量を開示することとしてはどうか**。

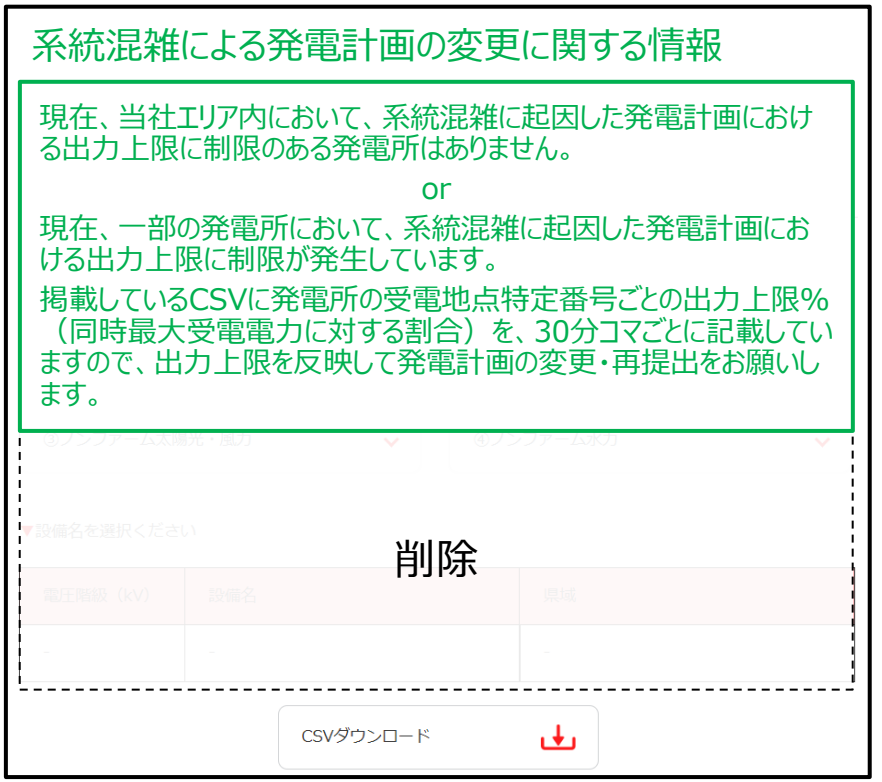
無断複製・転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社 2025.10

参考４．HP公表のイメージ

✓ ローカル系統混雑時の出力制御（一定の順序）への移行に伴い、系統混雑による発電計画の変更に関する情報公表に対応した当社HPの改修を予定しております。

現状

改修後



https://www.tepco.co.jp/pg/consignment/system/keitoukonzatu/forecast/index-j.html

注：受電地点特定番号とは22桁の番号であり、左から6桁目が「１」となっております。
「２」の場合は供給地点特定番号となり本情報公表には活用されませんのでご注意ください。
00-000**2**-0000-0000-0000-0000→受電地点特定番号
00-000**1**-0000-0000-0000-0000→供給地点特定番号

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考４．HP公表のイメージ

✓ 資源エネルギー庁「系統情報の公表の考え方」に従い、当社HPにおいて情報公表を予定しております。
- ■ 系統混雑に関する情報は速報、確報、年度報の計3断面
- ■ 再生可能エネルギーの出力制御(送電容量の制約)の実施状況は前日見通し、実績(速報)の2断面

＜混雑系統に関する情報（速報）＞

情報項目	補足説明
・混雑処理を行った系統 ・混雑処理を行った日時 ・概算出力制御量	・混雑処理を行った日の翌営業日[43]までに公開。 →※システム化が完了するまではこの限りではない

＜混雑系統に関する情報（確報）＞

情報項目	補足説明
・混雑処理を行った系統 ・混雑処理を行った日時 ・出力制御量 ・混雑処理費用（混雑処理に用いた電源の値差×出力制御量）	・混雑処理を行った日が属する月の翌々月の末日までに公開。 ・ローカル系統については、混雑処理費用を除く情報項目を公開。

＜混雑系統に関する情報（年度報）＞

情報項目	補足説明
・出力制御回数 ・出力制御量 ・混雑処理費用（混雑処理に用いた電源の値差×出力制御量）	・各系統の年度出力制御回数を公開。 ・各系統の出力制御量・混雑処理費用の年度合計値を公開。 ・混雑処理を行った日が属する年度の翌年度の５月末日までに公開。 ・ローカル系統については、混雑処理費用を除く情報項目を公開。

＜再生可能エネルギーの出力制御（送電容量の制約）の実施状況に関する情報（前日見通し）＞

情報項目	補足説明
・混雑処理を行う見通しの系統 ・出力制御の見通し（再生可能エネルギーの出力制御期間、再生可能エネルギーの最大出力制御量発生時刻、再生可能エネルギーの概算出力制御量、再生可能エネルギーの概算最大出力制御量） ・予想混雑状況（運用容量、再生可能エネルギーによる混雑処理前の予想潮流）	・再生可能エネルギーの出力制御予定日の前日夕方までに公開。

＜再生可能エネルギーの出力制御（送電容量の制約）の実施状況に関する情報（実績（速報））＞

情報項目	補足説明
・混雑処理を行った系統 ・出力制御内容（再生可能エネルギーの出力制御期間、再生可能エネルギーの最大出力制御量発生時刻、再生可能エネルギーの概算出力制御量、再生可能エネルギーの概算最大出力制御量） ・混雑状況（運用容量、再生可能エネルギーによる混雑処理前の潮流）	・再生可能エネルギーの出力制御を行った日の翌営業日までに公開。

令和6年12月版　系統情報の公表の考え方
https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/summary/regulations/pdf/keitou_kangaekata_20241209.pdf

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考４．HP公表のイメージ

✓ 前スライドの情報公表対応に伴う、当社HP改修のイメージは以下のとおりです。

現状

系統混雑による出力制御の実施状況に関する情報

2024年度

混雑処理に関する情報		
速報	速報（過去分）	確報
-	-	-

調整電源の出力制御に関する速報

1月6日　1月30日

年度報

<免責事項>
・当社は、当社の公開する系統混雑による出力制御の実施状況に関する情報を利用される方が本情報を用いて行う一切の行為について、責任を負いません。
・PDF、CSVデータの仕様については、予告なく変更することがあります。
・更新のタイミングによって、古い情報が表示されることがあります。
・公開内容は、予告なしに変更・追加・中止等をさせていただくことがございます。過去の情報を修正する場合に、修正のお知らせや修正前の情報の提供はいたしませんので、予めご了承ください。

https://www.tepco.co.jp/pg/consignment/system/keitoukonzatu/information/index-j.html

改修後

系統混雑による出力制御の実施状況に関する情報

出力制御の実施状況（速報）

2026年4月　2026年5月　…
2026年9月　2026年10月　…
2027年4月　2027年5月　…
⋮

→ 翌営業日までに公表
※システム化が完了するまではこの限りではない

調整電源の出力制御に関する速報

1月6日　1月30日　…

出力制御の実施状況（確報）

2026年4月　2026年5月　…
2026年9月　2026年10月　…
2027年4月　2027年5月　…
⋮

→ 翌々月の末日までに公表

出力制御の実施状況（年度報）

2026年度　2027年度　…

→ 翌年度5月末日までに公表

再生可能エネルギーの出力制御（送電容量の制約）の実施状況

2026年度　2027年度　…

<免責事項>
・当社は、当社の公開する系統混雑による出力制御の実施状況に関する情報を利用される方が本情報を用いて行う一切の行為について、責任を負いません。
・PDF、CSVデータの仕様については、予告なく変更することがあります。
・更新のタイミングによって、古い情報が表示されることがあります。
・公開内容は、予告なしに変更・追加・中止等をさせていただくことがございます。過去の情報を修正する場合に、修正のお知らせや修正前の情報の提供はいたしませんので、予めご了承ください。

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

参考４．　HP公表のイメージ（公表ファイル様式）

・混雑処理時の発電計画書換に関する情報 [konzatsu_yoso_03.csv]

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	情報発信日時	2024/5/20 hh:mm						
2	出力制御日	受電地点特定番号	出力制御情	2コマ[%]	3コマ[%]	4コマ[%]	5コマ[%]	6コマ[%]
3	2024/5/20	3120000000000000000000	100	100	100	100	100	100

・混雑系統に関する情報（速報）[konzatsu_sokuho_YYYYMM_03.csv]

	A	B	C	D	E	F
1	電圧階級[kV]	混雑処理系統	混雑処理_日付	混雑処理_開始時刻	混雑処理_終了時刻	概算出力制御量[MWh]
2	154	○○線	2024/4/26	10:00	14:00	8.2
3	154	○○線	2024/4/23	12:00	16:30	9.1
4	500/154	○○連系用変圧器	2024/4/23	10:00	14:00	10.2

・再生可能エネルギーの出力制御（送電容量の制約）の実施状況に関する情報 [konzatsu_saieneseigyo_YYYY_03.csv]

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	※１　再生可能エネルギーではない電源の出力制御実績を含み、（速報）のみ公表。								
2	※２　再生可能エネルギーの最大出力制御量発生時刻における前日見通しは調整電源や非調整電源（火力）などの出力制御後の予想潮流、実績速報は実績潮流に「自然変動電源の出力								
3									
4	情報区分	情報発信_日付	情報発信_時刻	電圧階級[kV]	混雑処理系統	混雑処理_日付※1	混雑処理_開始時刻※1	混雑処理_終了時刻※1	概算出力制御量[MWh]※1
5	実績速報	2024/4/24	13:00	500/77	○○連系用変圧器	2024/4/23	12:00	16:30	10.2
6	実績速報	2024/4/24	13:00	77	○○線	2024/4/23	12:00	16:30	9.1
7	前日見通し	2024/4/22	17:00	500/77	○○連系用変圧器	―	―	―	―
8	前日見通し	2024/4/22	17:00	77	○○線	―	―	―	―

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10

改訂履歴

年月日	スライドNo.、［タイトル］	改定内容
2025年 10月31日	33スライド	・お申込のメールアドレスの記載先を修正
	34スライド	・スライドタイトルの修正
	35スライド	・スライドタイトルの修正
	40スライド、［参考４． HP公表のイメージ］	・スライドタイトルとリード文の修正 ・受電地点特定番号と供給地点特定番号について注釈を挿入
	41スライド、［参考４． HP公表のイメージ］	・スライドタイトルとリード文の修正
	42スライド、［参考４． HP公表のイメージ］	・スライドタイトルとリード文の修正

無断複製・転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社　2025.10